

11503鉄道車両・同部分品製造業における死傷災害100事例まで（2019年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物 (小)	労働者規模
1	2019	1	14 ～ 15	溶接用ロボットのアタッチメントを加工するためにバイス台を移動していた。ホイストクレーンで吊り下げたバイス台を1.3m巻き上げ、ペンダントケーブルを引っ張りながらフライス盤へ動かしていたとき、バイス台が外れ落下し、左足の甲を骨折した。	19	4	379	1000 ～ 9999
2	2019	1	14 ～ 15	自動連結器取り替え作業中、クレーン操作を下げる場所を上げる操作を行い、クレーンのワイヤーが巻き上がり、玉掛け用ワイヤーが切れ、自動連結器がピットに落下した。その際、腿を打撲した。	26	4	372	300 ～ 499
3	2019	2	16 ～ 17	製品引渡場にて、製品（全長12.58m×高さ1.88m）に保護カバーを掛ける作業中、2名でカバー掛けを行い、他の製品との間（60cm）のフーチング部を歩行中、フーチング（高さ54cm）から左足を踏み外し転落した。その際、左膝をフーチングに打ち負傷した。	58	3	521	50～ 99
4	2019	2	15 ～ 16	車検修理場にて、玉掛用具整理中、仮台車用ワイヤーを持ち、足元の木片をまたぐ際、腰を負傷した。	28	19	372	300 ～ 499
5	2019	3	9 ～ 10	主電源機をクレーンで吊り上げ、主棟・台車組み立て場へ送り出す作業で、搬送台車とレールに右足が挟まれ小指と薬指を骨折した。	28	7	362	50～ 99
6	2019	4	17	足場で電車天井の塗装作業をしていた。足下確認を怠り、足場と電車天井の隙間から足を踏み外し、約3m下に転落した。その際、	47	1	411	1～9



14	2019	10	15 ～ 16	地下鉄工場に定期検査入場している車両にて、車両の整風板（6kg、空調吹出口）を2段脚立の1段目に跨ぐように乗り降りそうとした。その際、左足を床面につくときにバランスを崩し後方へ転倒して、左肘を強打し骨折した。	34	2	371	50～ 99
15	2019	12	16 ～ 17	出張先工場3番線にて、ピット間に設置された歩み板に渡ろうと右足を掛けたところ、1枚の歩み板が回転したため踏み外した状態となり、高さ約1m下のピット底に転落した。その際歩み板により股間を強打し、尿道に損傷を負った。	28	3	414	50～ 99

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで（2019年）](#)に戻る。